

令和7年9月三田市議会定例会(第382回)一般質問発言通告一覧

(第3日・9月17日 個人質問)

9番 水元 サユミ <一問一答>

- 1 幼稚園・保育所の認定こども園化や再編、小中学校の再編が財源ベースになった問題について
 - (1) 市立保育所・市立幼稚園・市立認定こども園のあり方について、市の見解を伺う。
 - (2) 小・中学校の再編統合について、市の見解を伺う。
 - (3) 「こどもを核としたまちづくり」に反するのではないか。
- 2 公民連携と公の責任について
 - (1) 上下水道事業について。
 - (2) Park-PFI (パーク PFI) について。
 - (3) 民間都合が優先となり市民が置き去りになるのではないか。
 - (4) 公の責任をどのように考えているのか市の見解を伺う。

6番 山崎 丈 <一問一答>

- 1 小中学校の教育環境について
 - (1) 市費負担職員(指導補助員、子どものサポーターなど)の配置について。
 - (2) 学校配当予算(管理備品費、教材備品費、消耗品費など)について。
- 2 三田市地域公共交通計画について
 - (1) 路線バスや地域内交通の維持確保について。
 - (2) 路線バス休止後のスクールバスや自家用有償旅客運送等の状況について。
- 3 多文化共生社会について
 - (1) 特別養護老人ホームなど介護現場の人手不足と外国人増加について。
 - (2) 多文化共生などの人権啓発活動について。

13番 中田 哲 <一問一答>

- 1 田村市政の2年間を振り返って
 - (1) 方針転換と説明責任について。
 - (2) 手段が目的化していないか。
 - (3) 職員が自由に発言できる風通しのよさがあるか。
 - (4) トレンドや先行事例の後追いばかりではない三田の特性を活かすビジョンについて問う。
- 2 市内事業者の課題について
 - (1) 人手不足・事業承継支援について。
 - (2) DX支援による生産性向上について。
 - (3) 姉妹都市関係を活かした海外輸出戦略について。

4番 坪之内 幸司 <一問一答>

- 1 有害鳥獣対策について
 - (1) 有害鳥獣被害対策を耕作放棄地対策として位置づける考えとその取組について伺う。

- (2) 国の鳥獣被害防止総合対策交付金の活用に際しての支援体制について伺う。
 - (3) 有害鳥獣に対する防除柵や捕獲活動、ICT 技術の導入など市の取組について伺う。
- 2 特定外来生物対策について
- (1) 専門人材の確保と人材育成について伺う。
 - (2) 県との連携による被害拡大前の先行的な取組について伺う。
 - (3) 発生初期段階での取組は、将来的な費用の抑制につながると考えるが見解を伺う。
- 3 地域公共交通について
- (1) バス路線の維持について伺う。
 - (2) バス利用者が減少する懸念について見解を伺う。

18番 長尾 明憲 <一問一答>

- 1 フラワータウン市民センターについて
- (1) 市民センターのホール機能について、市の見解を問う。
- 2 財政ロードマップ（案）で公表された収集ごみ処理手数料の導入（有料化）について
- (1) 有料化の目的は何か、市の見解を問う。
 - (2) 今のタイミングで有料化の検討を進める理由は何か、市の見解を問う。
 - (3) 多大な市民負担を強いる有料化はすべきではないと考えるが市の見解を問う。
- 3 市民病院職員の転任について
- (1) 転任において試験をしたことの是非について市の見解を問う。
 - (2) 転任枠を 20 名としたことについて市の見解を問う。
 - (3) 転任希望者をすべて受け入れるべきではないかと考えるが市の見解を問う。

20番 関口 正人 <一問一答>

- 1 市長の市政運営の振り返りと今後の方針について
- (1) この 2 年を振り返り、市長は自らの市政運営をどう評価するか。また、今後の市政運営の方針をどのように考えているか。
- 2 三田市の県立高校再編への対応について
- (1) 三田市として、市内の県立高校の再編について、市として望む姿を検討し、県について、具体的に意見書を提出するなどをすべきと考えるが、市の所見は。
- 3 気候変動危機に対する市の対応について
- (1) 三田市も、先駆的な自治体の一つとして、気候変動非常事態宣言を発出するとともに、気候変動市民会議を実施すべきであり、また、それに先駆けて、気候変動を真正面から取り上げた本格的なセミナーなどを実施すべきと考えるが、市の所見は。
- 4 将来的な人材不足への対応について
- (1) 将来的な人材不足への対応について。
 - (ア) 将来的な人材不足への対応について、市は課題として認識しているのか。課題と認識していれば、どのように取り組んでいく方針か。
 - (2) 外国人の課題と活用について。
 - (ア) 多文化共生社会を進める中で、三田市に住む外国人に関する課題をどのように認識しているか。また、今後、三田市職員を含め、市のさまざまな分野で外国人を労働者として受け入れることに対して、どのような方針を持っているのか。

2番 大西 憲司 <一問一答>

1 有害鳥獣への対応について

- (1) 農作物被害及び有害鳥獣の駆除の現状について。
- (2) ハンター不足の課題を踏まえた人材育成について。
- (3) 解体処理施設の設置について。
- (4) ジビエを活用した新たな特産品の開発とその可能性について。

2 リチウムイオン電池の廃棄について

- (1) 三田市の対応状況について。
- (2) ヒヤリハット事例の有無について。
- (3) 法規制後の対応と市民への周知方法について。

3 放課後児童クラブの現状と課題について

- (1) 現在の利用状況について。
- (2) 長期休暇期間中の昼食提供について。
- (3) 今後の運営改善を含めた対応について。